

# 幼稚園図書室整備による園児の絵本の選び方の変化

～生まれ変わった『絵本の部屋』 その後～



高知大学教育学部附属幼稚園

## <本園の取り組み>

国内の幼稚園は、保育に活用するために多くの絵本を所蔵しているが、幼稚園図書室設置が義務付けされていないため、全国的に図書室整備が遅れている。また予算が少なく、司書の配置もほぼない現状である。

本園では以前より図書室は設置していたが、図書の分類や図書原簿の管理に課題があったため、保護者と保育者が共に、『園児と保育者が使いやすい図書室』を目指して一から整備し直した。

## <園児の絵本の選び方の変化>

図書室の改装前と改装後とで、園児の利用に変化があったが、貸出統計を元に分析調査。

対象児) 2015年度は年少児 24名、年中児 42名、年長児 36名。

2017年度は年少児 20名、年中児 46名、年長児 36名。

表1 貸出図書冊数の平均



すべての学年で  
絵本の貸出図書冊数が  
増加しました!!

年長児は、図鑑類の貸出図書  
冊数が増加!

表2 貸出図鑑冊数の平均

学年	年度	恐竜	体	工作	魚	生物	昆虫	植物	乗り物	科学	鳥	動物	生活
年少児	2015	5.08	0.08	0.29	0.29	0.21	0.63	0.25	0.75	0.17	0.04	0.38	0.46
	2017	4.65	0.00	0.10	0.15	0.15	0.15	0.10	0.50	0.05	0.00	0.05	0.00
年中児	2015	2.19	0.14	0.05	0.14	1.79	1.64	0.71	0.14	0.24	0.23	0.57	0.21
	2017	3.20	0.02	0.50	0.11	0.93	0.83	0.04	0.07	0.00	0.02	0.09	0.07
年長児	2015	3.03	0.11	0.19	0.17	0.81	1.03	0.36	0.00	0.11	0.11	0.22	0.17
	2017	5.67	0.00	2.47	0.11	0.56	0.53	0.06	1.03	0.03	0.14	0.17	0.56

これら貸出冊数の増加は、図書室整備によって絵本が選びやすくなり、絵本への興味・関心が広がっていった結果ではないかと考えられる。このことは、表2において、年長児の「恐竜」と「工作」に関する絵本の借入れが増加していることからわかる。今後は、「恐竜」「工作」以外の図鑑類への関心も高まるような図書室の工夫を検討したい。

本調査の結果、本園の図書室整備が園児の絵本への興味・関心を高め、また広げていることが実証された。

本研究では、日本図書館協会の綱領「図書館の自由に関する宣言」第3項「図書館は利用者の秘密を守る」を踏まえた上で、対象児の全ての保護者から園を対象に行われる全ての研究へ参加し、その成果を倫理的配慮のもとで公開することについての文章による同意を得ている。また高知大学教育学部倫理審査委員会の承認（承認番号：令和元年度第1号）を受けた上で実施している。